

PRESS RELEASE

遠隔操作タブレットで実現する新しい見守りのかたち

2025年4月1日サービス開始! ~高齢者や支援が必要な方の「つながる安心」を実現~

少子高齢化が進む中、高齢者や支援が必要な方の見守りが重要な社会課題となっている。こうした課題に対応するため、NPO法人ふれあい坂下（本社・茨城県日立市、代表理事・川崎真理子）とコンプラス株式会社（本社・茨城県日立市、代表取締役・佐藤みどり）は、ネット環境が必要ない遠隔操作タブレットを活用した安否確認・生活支援サービスを4月1日から開始することを発表した。本サービスは、遠隔操作タブレット端末（ケアビー※1端末）を通じて、コンシェルジュが遠隔で利用者の安否を確認し、必要なサポートを行えるもの。これにより、離れて暮らす高齢者や要支援者の安全を守りながら、見守る側の負担軽減も実現する。



利用者（イメージ）



コンシェルジュ（イメージ）

サービスの特長と主な機能

本サービスでは、「安否確認」「生活支援」「遠隔操作」の3つの機能を柱としている。

01 安否確認機能

利用者毎に設定した時間に遠隔操作タブレットが自動メッセージで呼びかけ、利用者の応答を確認。

反応がない場合、電話等にて連絡して、その内容を家族や支援者に連絡する。

02 生活支援機能

コンシェルジュがタブレットを遠隔操作し、買い物・付き添い送迎など生活支援の御用聞きやビデオ通話やメッセージの送信が可能。

服薬リマインダーやスケジュール管理の設定を支援。大きなアイコンで直感的に操作しやすい設計。通常は時計としてリビングの中心に置くことができる。

03 遠隔操作機能

利用者がコンシェルジュを呼び出し・会話することで、ホームページやYouTube等の動画や趣味等のサイトを利用者の要望にしたいがいコンシェルジュが遠隔操作する。離れて暮らす家族などが、利用者呼び出し、対面で話せます。

※1 ケアビーは、Hubbit株式会社の登録商標です。

■ 離れていても、すぐそばにいる安心感を

本サービスは、遠隔操作タブレット端末を通じて遠隔での見守りや支援を可能にするもの。利用者の自宅に設置されたタブレットをワンタッチでつながりコンシェルジュが遠隔操作できる仕組みとなっています。

■ 高齢化社会に求められる「つながる技術」

本サービスの背景には、超高齢化社会の進展とそれに伴う支援の負担増がある。特に、遠方に住む家族が頻繁に訪問できないケースや、介護サービスが不足する地域での支援強化において、大きな役割を果たすと期待されている。本サービスの担当者は、「テクノロジーを活用し、利用者が自宅で安心して暮らし続けられる環境づくりを支援したい」と語る。

■ 今後の展開

本サービスは、日立市での試験運用が始まっており、実際の利用者の声をもとに、さらに機能の改善を図っていく。今後は、より多くの人々に「つながる安心」を提供することを目指している。本サービスは、テクノロジーの力で家族や支援者をつなぎ、「離れていても安心できる社会」の実現を目指している。今後の発展に期待が集まる。

会社情報

法人名：NPO法人ふれあい坂下

本社所在地：〒319-1224
茨城県日立市南高野町3-9-8

代表理事：川崎 真理子
電話番号：0294-52-6348
サイト：<https://npofuresaka.jp>

会社名：コンプラス株式会社
本社所在地：〒317-0052
茨城県日立市東滑川町1-13-12

代表取締役：佐藤 みどり
電話番号：0294-51-2702
サイト：<https://com-pras.co.jp>



ご家族（イメージ）

《プレスリリースについてお問合せ》

コンプラス株式会社 担当 経営戦略室 佐藤 修一

Tel: 0294-51-2702 Mail: info@com-pras.com
